



## タキ1900セメントターミナル

### ◆実車ガイド

- ・タキ1900形は40t積みセメントタンク車として1964年に登場した形式で、国鉄の標準セメント貨車として活躍し現在でも東藤原～四日市間で活躍しています
- ・同形を含めたセメント専用貨車は所有者や製造年次によって形態が多岐にわたっていたことから標準化が模索され、セメント輸送合理化のため国鉄とセメントメーカー各社の出資で設立されたセメントターミナル向けの車両に標準化設計が採用されました
- ・セメントターミナル所有のタキ1900形は淡緑3号に塗装されていたのが特徴で国鉄～JRを通して主に関東・南東北・北陸・中部地方で使用され、晩年は本巢・青海・東藤原を拠点に活躍しましたが、鉄道によるセメント輸送の縮小により2007年頃に全車両引退しました

【文責:トミーテック】



※画像は実車です 実際の製品仕様と異なる場合があります

### ◆製品化特徴

#### ＜共通＞

- ・セメントターミナルが所有したタキ1900形を新規製作で再現
- ・緑色の塗装を纏った姿を再現
- ・<8740>とは異なるランボードやタンク受け台形状を再現
- ・台車はコイルバネ装備のTR41E形台車を新規製作で再現
- ・タンク側面にあるハンゴやタンク上部のランボードは別パーツで再現
- ・反射板パーツ付属
- ・黒色台車枠、黒色車輪採用

#### ＜8763＞について

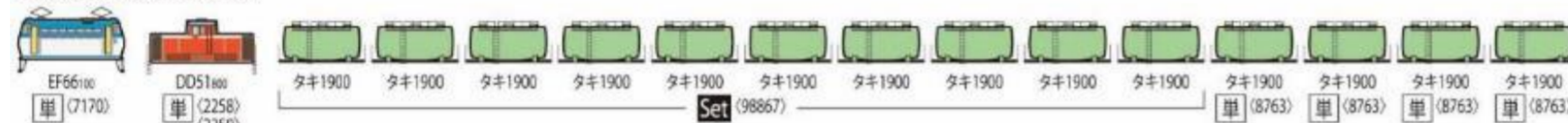
- ・車番は「タキ112392」を印刷済み
- ・常備駅は「倉賀野」を印刷済み

#### ＜98867＞について

- ・車番は「タキ112396・112404・112406・112408・112409・112410・112412・112417・112419・112420」を印刷済み
- ・常備駅は「倉賀野・郡山貨物ターミナル」を印刷済み
- ・車番・常備駅変更用転写シート付属

### ■セット内容・編成例

●東海道本線(2004年頃)



＜別売りオプション＞  
TNカブラー: <0398>自連形CC・黒

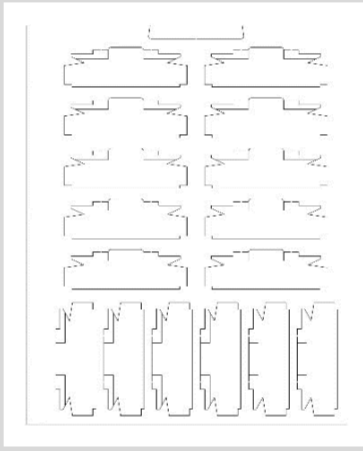
### ●並べて楽しめる商品●

DD51-800

EF81形  
貨物更新車など

EF66-100

DE10形暖地型・新更新車



単品車両の収納に！  
車両ケース16両用  
タキ1900・29300サイズ

### ◆ここがポイント

#### ～ここが違うぞ！タキ1900セメントターミナル～

＜8740＞タキ1900と異なる各部の形状を再現します

・タンク体上部のランボード長さ

・タンク体下部の受台形状

・非ハンドル側デッキのステップの有無



<8740>タキ1900の形状

・タンク体上ハッチの形状

・タンク体下部の配管・補強部形状

・台車の形状

・送気管の有無

※画像は実車です 実際の製品仕様と異なる場合があります

品番	8763	品名	私有貨車 タキ1900形(セメントターミナル)	セット両数	1両
発売月	2024年12月	JANコード	4543736087632	予価	¥1,980 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	180×30×65mm	パッケージ形態	クリアケース
品番	98867	品名	私有 タキ1900形貨車(セメントターミナル)セット	セット両数	10両
発売月	2024年12月	JANコード	4543736988670	予価	¥21,560 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	218×304×34mm	パッケージ形態	ブック型プラケース

セメントターミナル株式会社商品化許諾済